

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	小学生における触覚に関する擬音語・擬態語の獲得過程とその好みについて
Author(s)	内田, 雅美
Citation	児童の言語生態研究 , 9 : 25 - 31
Issue Date	1978-06-08
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045101
Right	
Relation	



小学生における 触覚に関する擬音語・擬態語の 獲得過程とその好みについて

内田雅美

目的

感覚の音声化としての擬音語・擬態語には、人間の成長過程とともに、獲得の順序があるのかどうか。あるとすれば、何が早く、遅いのか。小学生が快・不快を感じる擬音語・擬態語の特徴はあるのか。これが今回の調査の目的である。なおここでは、擬音語・擬態語全体のうち、触覚とかわるものに限定して行う。

触覚を選んだ理由は、他の視・聴覚と比べて直観的であり、総合的な身体感覚ともいうべきものに近いと考えたからである。特に視・聴覚とかわる擬音語・擬態語が、物理的現象(形・音)を視たり、聴いたりすることによって音声化するのに対し、触覚とかわるものは触覚それ自身を直接音声転換したものと考えられるので、より原始的な感覚と音声との結びつきを得たいためであった。

一、調査方法

(一) 調査問題

テストⅠ

□の中には、同じ文字が入ります。
□に合う文字を、()の中から選んで○でかこみなさい。いくつ選んでもかまいません。

(二)

① □と□と(ね・ぎ・べ・し・じ・せ)

② さき(げ・ぎ)
③ るる(つ・す・ぬ・ず・せ)
④ よよ(ぶ・ば)

⑤ ぞぞ(み・も)

⑥ くく(し・ち・む・が・ぞ・え)
⑦ ちち(ね・こ・ご・め・か・が・き

・び)

⑧ ここ(ふ・ぼ・べ)
⑨ んん(が・む・げ・ば)

⑩ ぶぶ(だ・よ・が)
⑪ ちらちら(さ・さ・ひ・び・う・ぬ・み

・て・か)

⑫ わわ(し・じ・ぎ・こ・ふ・ぶ)
⑬ ねね(く・が・ぐ)

(二)

① くく(り・ま・ね)
② さき(ら・り)

③ よよ(れ・み)
④ ふぶ(さ・わ・け・か)
⑤ ばば(せ・き)

⑥ もも(ぞ・せ)
⑦ ちち(り・く・け)
⑧ べべ(た・く・と)

⑨ びび(ち・れ・り・ら・た)
⑩ ずず(ろ・る・き)
⑪ ねね(と・ち・た・ば・ぶ)

⑫ じじ(め・と・わ・け)
⑬ ここ(つ・ち・ぬ・り・ろ)
⑭ ほほ(し・さ・こ)

⑮ がが(ち・て・ば・ぶ・く・ん)

⑯ ぶぶ(り・つ・む)
⑰ きき(る・り・ち)

⑱ てて(か・き・ら)
⑲ とと(ろ・り)

⑳ かか(ち・ら・さ・て)

テストⅡ

□の中には、同じ文字が入ります。
□に合う文字を、()の中から選んで、○でかこみなさい。いくつ選んでもかまいません。

(一)

① かか(ほ・ほ・ひ・ふ・ぶ・て)
② べべ(す・さ)

③ やや(は・つ・ほ)
④ れれ(よ・め)

⑤ さき(ぼ・び・ぶ・ふ・か)
⑥ ろろ(ど・と・こ・つ)

⑦ つつ(ご・こ・ぶ・ふ・べ・ほ)
⑧ しし(ま・む)

⑨ なな(し・う・わ)
⑩ きき(ず・ぞ・ば)

⑪ りり(く・ぐ・こ・き・ち・び
・ば・え・ひ・ぶ)

⑫ ずず(め・む)
⑬ たた(あ・べ・べ・ね・び)

⑭ めめ(び・じ)
⑮ ばば(だ・が・の・ね)

(二)

① くく(り・の・ね)
② さき(ら・れ)

<表1>

調査語数 91語

(左) ○印 80%以上 (A, Bどちらか)
 △印 79~50% (A, Bどちらか)
 ×印 50%未満 (A, B両方)

(中) 数字 { 上段 … A型の正答率
 下段 … B型の正答率

(右) ☆印 A型, B型の差が, 30%以上あるもの
 ☆' 類型(差が28, 29%)

※ ことばの左上・印は, A型, B型をテストI, IIに分けて出したもの。 47語
 無印は, A型, B型共, テストIIに出したもの 21語
 ●印は, A型, B型共, テストIに出したもの 23語

- ③ ぼ□ぼ□ (せ・つ・か)
- ④ つ□つ□ (や・む・る)
- ⑤ む□む□ (ず・せ・ん・し・く)
- ⑥ し□し□ (と・な・わ・く・ち)
- ⑦ わ□わ□ (な・ゆ)
- ⑧ べ□べ□ (た・く・こ)
- ⑨ ひ□ひ□ (ら・に・り)
- ⑩ こ□こ□ (り・つ・る・ち・わ)
- ⑪ す□す□ (ば・べ・る)
- ⑫ ど□ど□ (ろ・り)
- ⑬ ぶ□ぶ□ (わ・け・つ・か・よ)
- ⑭ ぎ□ぎ□ (と・そ・さ)
- ⑮ む□む□ (り・る・ら)
- ⑯ ぞ□ぞ□ (か・く)
- ⑰ う□う□ (ら・れ)

No.1

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
*うらうら	○ 84 15 ☆	× 41 31	△ 52 7 ☆	△ 71 16 ☆	△ 62 9 ☆	× 40 15
*かきかき	△ 64 44	○ 100 72 ☆	○ 76 83	△ 55 74	○ 85 85	○ 93 91
*かちかち	○ 85 51 ☆	○ 100 100	○ 95 83	○ 92 90	○ 94 94	○ 100 100
*がらから	△ 59 46	△ 59 68	△ 63 66	△ 76 68	△ 68 71	○ 93 98
*がちがち	△ 64 44	△ 75 43 ☆	△ 76 29 ☆	△ 79 68	○ 88 68	△ 78 71
*がばがば	× 44 41	△ 53 44	△ 56 64	△ 42 71 ☆	△ 68 71	○ 78 89
*がぶがぶ	△ 51 72	△ 59 69	△ 59 76	△ 71 76	△ 74 68	○ 85 90
*がくがく	× 26 31	△ 63 47	△ 56 49	△ 71 74	△ 77 62	○ 98 88
*がんがん	△ 46 74 ☆	△ 56 78	○ 71 85	○ 74 82	△ 79 79	○ 98 98
*きちきち	× 31 10	× 41 25	× 34 5 ☆	△ 58 21 ☆	× 32 3 ☆	× 42 20
*きりきり	△ 62 34 ☆	△ 53 41	△ 71 55	△ 63 34 ☆	△ 3 53 ☆	○ 83 71
*ぎざぎざ	○ 78 85	○ 81 97	○ 95 100	○ 97 92	○ 88 33 ☆	○ 94 98
*ぎとぎと	× 44 5 ☆	× 25 41	× 24 10	× 6 5	× 12 3	× 9 7
くりくり	△ 69 66	△ 66 66	△ 74 69	△ 66 13 ☆	△ 79 74	○ 83 83
*くねくね	○ 75 90	○ 63 84	○ 76 83	○ 89 95	○ 88 94	○ 94 100
*ぐりぐり	△ 74 41 ☆	△ 72 63	△ 68 69	○ 82 54 ☆	△ 74 76	○ 85 86
*くねくね	△ 56 56	△ 53 31	△ 66 39	○ 87 74	△ 77 56	○ 90 68
*ごちごち	△ 64 67	○ 78 91	△ 76 73	○ 87 71	○ 82 85	○ 93 98
*ごつごつ	○ 82 69	○ 84 59	○ 76 91	○ 87 74	△ 68 79	○ 88 91
*ごりごり	△ 41 50	△ 56 59	△ 63 79	△ 79 63	△ 56 76	○ 81 80
*ごろごろ	△ 46 72	△ 63 78	○ 81 88	○ 90 74	○ 82 79	○ 88 6 ☆
*ごちごち	△ 63 39	△ 31 36	× 31 29	△ 34 68 ☆	△ 56 47	○ 80 73
ごつごつ	△ 63 56	△ 63 69	△ 76 76	○ 77 83	○ 85 94	○ 94 97
ごりごり	△ 75 47 ☆	△ 72 66	○ 88 86	△ 77 57	○ 97 79	○ 91 91
*ごわごわ	× 34 31	△ 28 50	△ 71 39 ☆	△ 60 53	△ 79 59	○ 91 51 ☆
*さらさら	○ 90 95	○ 100 100	○ 100 95	○ 97 97	○ 97 91	○ 100 100
*さらさら	○ 97 49 ☆	○ 91 84	○ 85	○ 100 90	○ 100 77	○ 97 95
しなしな	× 38 41	× 9 41 ☆	× 19 36	△ 20 54 ☆	× 32 38	× 37 43
*しわしわ	△ 66 72	△ 75	○ 62 88	○ 43 87 ☆	○ 71 82	○ 69 90
*しとしと	△ 69 46	△ 69 44	△ 74 49	○ 97 79	○ 85 71	○ 74 83
*しくしく	△ 47 62	△ 56 75	○ 83 76	○ 71 87	○ 79 85	○ 77 98

なお、問題数が多いため、テストI・IIに分けて行った。A・B型がテストI・IIに分けて行った。

三年生 東京 第一寺島小 四十一名
 二年生 東京 第一寺島小 三十二名
 一年生 東京 第一寺島小 三十五名

たもの。

例)ばさばさ
 A型ば□ば□
 B型ば□さ□さ

六年生 東京 町田第三小 三十五名
 五年生 東京 第一寺島小 二十四名
 四年生 東京 第一寺島小 三十五名
 三年生 東京 第一寺島小 四十二名
 二年生 東京 第一寺島小 三十二名
 一年生 横浜 汐見台小 三十二名

△表2▽△表1▽の、○(A・Bどちらか80%以上)△(A・Bどちらか79~50%)×(A・B共50%未満)で整理したもの。

問題についてA・B両型の問題を作成した。それを、次の二つの型に整理し、一つの語についてA・B両型の問題を作成した。

全部、基本的な二音繰り返し型とし、それそれ、次の二つの型に整理し、一つの語についてA・B両型の問題を作成した。

問題についてA・B両型の問題を作成した。

問題の用例は、すべて「擬音語・擬態語辞典(東京堂出版)の中より、触覚に関すると思われる九十一語を選び出した。

問題作成に当って

昭和五十二年十二月〜五十三年一月

- ⑬ だ□だ□ (ば・べ・ぶ)
- ⑭ ば□ば□ (ん・り・ろ・さ)
- ⑮ ほ□ほ□ (や・よ・か)

かれているもの47語。テストIにA・B両方入っているもの23語。テストIIにA・B両方入っているもの21語である。

四年生 東京 南第四小 三十八名
 五年生 東京 第一寺島小 三十四名
 六年生 東京 町田第六小 四十一名

まず、集計の結果より見られる特徴を上げていこうと思う。全体的に非常に高い正答率であるといえる。△表2▽より、正答率が、一年生で80%に達しているものが25語、二年生13語、三年生13語、四年生8語、五年生3語、六年生19語、計81語となっている。一年生で約三割(91語中25語)が80%以上に達し、三年までではその約六割(91語中51語)の正答率が80%以上に達している。逆に、六年生までに正答率が80%に達していないものは、全体の一割(91語中10語)しかない。小学校前半の間に六割、卒業までに九割が獲得されていることがここで明らかになった。このことは、子ども達が、教わらなくても、感覚に関する擬音擬態語を身につけていることを表わしている。

又、この九割の語には、ほとんど音の片寄りが見られない。驚いたことには、一年生の正答率が他の学年よりも高い語があることである。「じめじめ」「ぼつぼつ」「つつつつ」「むしむし」「わなわな」「うらうら」などがそうである。中でも、「わなわな」「うらうら」の二語は、一年生で獲得しているながら、その後低下している。これは、発達とともに低下の傾向をたどる感覚があることを示している。

(△表3▽提示)

- “ねたねた” “ねちねち” “てらてら”
- “ばきばき” “じとじと” “しなしな”
- “だばだば” “きちきち” “ぎとぎと”

No. 3

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
*びちびち	△ 77 64	○ 88 78	○ 93 71	○ 92 87	○ 85 85	○ 98 93
*ふかふか	× 49 25	△ 63 56	△ 61 62	△ 71 49	△ 77 74	○ 81 83
*ふわふわ	○ 87 74	○ 94 88	○ 98 81	○ 95 92	○ 94 85	○ 100 98
*ふさふさ	× 31 44	△ 53 41	△ 50 50	○ 90 77	○ 94 82	○ 100 97
*ぶつぶつ	△ 67 50	△ 63 56	△ 63 62	△ 79 46	☆ 71 68	○ 81 94
*ぶりぶり	△ 67 44	○ 81 44	☆ 83 57	○ 87 49	☆ 79 56	○ 88 89
ふかふか	△ 66 47	△ 63 63	△ 71 66	△ 66 60	○ 76 82	○ 83 83
ぶつぶつ	△ 78 63	△ 66 69	○ 91 86	○ 83 63	△ 65 74	○ 97 94
*ふよふよ	△ 44 64	○ 50 84	☆ 50 90	○ 69 90	○ 44 85	☆ 91 100
*ふわふわ	△ 50 26	× 34 31	× 33 22	× 31 34	× 44 27	○ 80 44
*べこべこ	△ 56 69	○ 63 91	☆ 79 71	○ 80 84	○ 79 82	○ 94 95
べたべた	○ 94 75	○ 84 91	○ 98 95	○ 94 91	○ 100 88	○ 97 97
*べたべた	○ 85 72	○ 100 84	○ 98 93	○ 95 91	○ 94 74	○ 100 91
*べとべと	△ 62 77	○ 81 84	○ 83 98	○ 87 92	○ 94 94	○ 100 100
ほかほか	△ 72 72	○ 88 75	○ 98 93	○ 97 71	○ 94 94	○ 97 97
はやはや	△ 72 53	△ 72 78	○ 93 88	○ 86 60	○ 82 79	△ 66 69
*ほきほき	○ 82 59	○ 97 81	○ 83 91	○ 87 83	○ 91 94	○ 93 69
*ほこほこ	△ 64 74	○ 81 78	○ 83 73	○ 84 92	○ 88 94	○ 95 98
ぼつぼつ	○ 81 53	☆ 88 81	○ 91 93	△ 77 71	○ 100 85	○ 91 86
ほかほか	△ 72 56	○ 88 97	○ 88 91	○ 89 100	○ 79 91	○ 94 97
*むくむく	△ 66 39	△ 59 66	△ 79 51	☆ 60 76	△ 74 68	○ 77 83
むしむし	○ 59 88	☆ 34 78	☆ 45 91	☆ 57 94	☆ 65 85	△ 66 66
むんむん	× 25 26	× 19 25	× 43 24	△ 20 72	☆ 32 53	○ 86 97
むずむず	○ 69 94	○ 84 94	○ 91 93	○ 100 100	○ 85 94	○ 97 97
*もぞもぞ	○ 87 90	○ 78 94	○ 95 93	○ 100 90	○ 94 97	○ 100 100
*よれよれ	○ 80 94	○ 75 88	○ 95 93	○ 92 100	○ 97 97	○ 100 94
わなわな	○ 88 63	× 34 41	△ 67 43	△ 74 46	☆ 94 82	△ 74 77

No. 2

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
*じわじわ	× 49 39	△ 56 50	△ 73 44	☆ 90 79	△ 62 53	○ 93 83
*じめじめ	○ 46 84	☆ 47 66	○ 68 93	○ 79 100	○ 85 94	○ 98 94
*じとじと	× 28 23	× 47 16	× 49 17	☆ 40 26	△ 59 29	☆ 76 44
*するする	△ 75 44	☆ 75 72	△ 64 56	○ 90 90	☆ 100 62	☆ 91 95
*ずるずる	○ 80 41	☆ 81 63	○ 98 66	○ 97 84	○ 100 68	☆ 100 88
すべすべ	△ 75 72	○ 91 94	○ 86 100	○ 97 100	○ 97 100	○ 89 94
*ずきずき	△ 62 56	△ 50 69	○ 49 81	○ 61 83	○ 62 85	○ 88 94
*ぞくぞく	○ 91 36	☆ 81 38	○ 100 73	○ 83 90	○ 94 90	○ 97 95
*だばだば	△ 69 69	△ 69 78	○ 93 85	○ 94 90	○ 68 91	○ 97 95
だばだば	△ 66 50	× 16 16	× 29 12	× 23 14	△ 50 15	☆ 54 20
*ちくちく	○ 82 62	○ 88 91	○ 93 83	○ 97 84	○ 97 94	○ 100 95
*ちりちり	× 39 38	× 41 44	△ 49 52	△ 71 46	△ 53 59	○ 76 83
*つやつや	△ 75 75	△ 72 72	○ 79 98	○ 89 86	○ 88 94	○ 89 94
*つるつる	○ 81 90	○ 78 91	○ 93 90	○ 80 97	○ 76 91	○ 91 98
*かてかて	× 46 9	☆ 53 3	☆ 56 17	☆ 61 49	△ 77 47	☆ 85 74
*てらてら	△ 51 8	☆ 53 19	☆ 49 12	☆ 50 34	× 27 16	× 44 39
*とろとろ	○ 92 44	☆ 84 69	○ 100 86	○ 92 94	○ 100 85	○ 98 9
どろどろ	○ 91 72	○ 88 88	○ 100 95	○ 97 94	○ 100 94	○ 97 97
*ぬるぬる	△ 78 54	○ 84 91	○ 95 76	○ 94 92	△ 67 62	○ 83 95
*ぬらぬら	× 28 13	× 3 19	× 10 10	× 14 16	× 18 3	× 11 7
*ねたねた	× 46 31	× 47 31	× 39 24	× 45 9	☆ 62 24	☆ 44 39
**ねちねち	× 13 10	× 9 9	× 7 7	△ 58 55	× 24 41	△ 54 39
**ねとねと	× 46 21	△ 66 59	△ 68 32	☆ 76 53	○ 82 56	○ 83 76
*ねばねば	△ 54 66	○ 44 84	○ 81 100	○ 90 97	○ 96 94	☆ 85 94
ぼきぼき	△ 44 50	△ 69 75	○ 91 86	○ 89 69	○ 79 85	○ 97 97
ぼりぼり	△ 63 63	△ 78 75	○ 86 81	○ 86 74	○ 82 82	○ 94 89
*ぼんぼん	△ 69 54	△ 41 63	△ 45 59	△ 29 74	☆ 56 41	○ 74 95
*ぼきぼき	× 36 47	× 44 38	× 34 31	△ 55 31	△ 59 68	△ 56 74
*ひらひら	○ 88 62	○ 81 84	○ 95 81	○ 94 95	○ 94 85	○ 97 95
ひりひり	△ 59 34	△ 72 41	☆ 93 93	○ 91 77	○ 82 85	○ 94 91
**びらびら	× 49 33	× 50 28	△ 68 59	△ 76 66	△ 68 50	○ 78 93
*びりびり	× 46 44	△ 78 72	△ 56 67	○ 84 63	△ 77 79	○ 88 80
*びたびた	△ 39 53	△ 63 44	△ 44 50	△ 58 34	△ 68 38	☆ 76 80

「ねらねら」の十語は、六年生までに80%に達していないことばである。△表3▽は、各語を構成している二音について、それぞれ習得されている(80%に達している)語と、この十語とを並べてみたものである。

例えば、粘り気を表わす語において、

「ねばねば」「ねとねと」が四年生までに習得されているにもかかわらず、「ねたねた」「ねちねち」ができていない。「ねたねた」「ねちねち」を、「ねばねば」「ねとねと」のそばにあることばとして意識されていないのである。これと同じ例が、「てかてか」に対する「てらてら」、「だぶだぶ」が「がばがば」に対する「だばだば」、「べとべと」「ねとねと」に対する「ぎとぎと」、「ぬるぬる」に対する「ぬらぬら」「じめじめ」「じわじわ」に対する「じとじと」などであると言えよう。残りの、「しなしな」「きちきち」「ばきばき」の三語については、語の性質そのものが、小学生の意識と離れていると見てよいと思う。

(△表4▽提示)

△表4▽は、△表1▽より、☆印の語(A・B型の差が30%以上の語)について、類型(差が29・28%)も含め、その数をまとめたものである。

数の上では、六年生が6つと、他学年の約半数で少ない他は、だいたい似た数である。しかし、型の上では、一、三、五、六年がA型に傾いているのに比べ、二、四年

<表 2>

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	かちかち						
2	かぎかぎ						
3	くねくね						
4	さらさら						
5	ざらざら						
6	ずるずる						
7	ぞくぞく						
8	ちくちく						
9	つつつつ						
10	とろとろ						
11	どろどろ						
12	ひらひら						
13	ふわふわ						
14	べたべた						
15	べたべた						
16	ぼさぼさ						
17	むずむず						
18	もぞもぞ						
19	よれよれ						
20	じめじめ						
21	ぼつぼつ						
22	こつこつ						
23	むしむし						
24	わなわな						
25	うらうら						
26	すべすべ						
27	ねばねば						
28	びちびち						
29	ぶよぶよ						
30	べとべと						
31	ほかほか						
32	ほかほか						
33	ほこほこ						
34	こちこち						
35	ぺこぺこ						
36	かさかさ						
37	ぬるぬる						
38	ぷりぷり						
39	ころころ						
40	しくしく						
41	しわしわ						
42	ずきずき						
43	つやつや						
44	だぶだぶ						
45	ぼりぼり						

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
46	ばさばさ						
47	ひりひり						
48	ほやほや						
49	ごりごり						
50	がんがん						
51	ぶつぶつ						
52	ごつごつ						
53	しとしと						
54	するする						
55	ぐねぐね						
56	ぐりぐり						
57	ふきふき						
58	びりびり						
59	じわじわ						
60	ぶかぶか						
61	ねとねと						
62	がちがち						
63	がぶがぶ						
64	からから						
65	きりきり						
66	くりくり						
67	ごちごち						
68	こりこり						
69	ぼんぼん						
70	びたびた						
71	ぶつぶつ						
72	むくむく						
73	ごわごわ						
74	がばがば						
75	がくがく						
76	ふかふか						
77	びらびら						
78	てかてか						
79	ちりちり						
80	むんむん						
81	ぶわぶわ						
82	だばだば						
83	てらてら						
84	ばきばき						
85	ねちねち						
86	じとじと						
87	しなしな						
88	きちきち						
89	ねたねた						
90	ぎとぎと						
91	ぬらぬら						

—— (○) A・Bどちらか80%以上
 - - - (△) A・Bどちらか79~50%以上
 - - - - (×) A・B共 50%未満

生はA・B両型がほぼ釣り合っている。全体的に、B型で反応しにくいという一定の片寄りのある中で、二年、四年の二学年においては偏向性はなく、柔軟であるともてよいのではないか。

次に、A表1Vより、全学年通じて、A型優勢とB型優勢の語を上げてみる。

(A表1V提示)

△図1Vの“ずるずる”に代表されるように、“がちがち”“てかてか”“うらうら”“でらでら”“じとじと”“ふりふり”“きちきち”“だばだば”“ところと”“ねばねば”“ごりごり”“がんがん”“どろどろ”“ぱりぱり”“びちびち”“ふわふわ”“べたべた”“ほかほか”“かちかち”“ぐねぐね”“さらさら”“じわじわ”の23語は、全部A型が優勢なことから、これらの語は、A型で反応しやすくB型でしにくいと言える。

又、△図2Vの“ぶよぶよ”に代表されるように、“むしむし”“しなしな”“ねばねば”“べとべと”“むずむず”“しわしわ”“くねくね”の8語は、反対に、B型で反応しやすく、A型でしにくいことばだと言える。

(二) 問題二について

テストI・IIに各語におけるA・B両型が全部分かれて入っていないため、テストI・II別に結果をまとめることにする。

。気も面白いことば

テストI

(△図1V△図2V△図3V△図4V△図5V提示)

△図1Vより、テストIに示した70語のうち、回答率が5%以上のものは、“さらさら”(30%)“ふわふわ”(21%)“つるつる”(13%)の3語で、全体の64%を占めている。中でも、“さらさら”(33人に1人)、“ふわふわ”(5人に1人)は、頻繁に回答され、小学生に非常に好かれていることばであるといえる。

① 男女差

△図2V△図3Vより、女子の方が男子よりも“さらさら”ということが好んでいることがわかる。“ふわふわ”もこの類型である。同様に、△図2V△図4Vより、男子の方が女子よりも“つるつる”ということばを好んでいることがわかる。

② 学年差 (一、二、三年生を低学年。四、五、六年生を高学年とする。以下省略して記す。)

△図5Vより、高学年の方が低学年より、“さらさら”ということばを好んでいると言える。“ふわふわ”もこの類型である。

テストII

(△図6V△図7V△図8V△図9V提示)

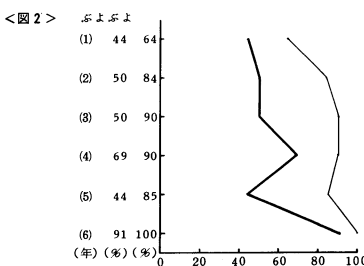
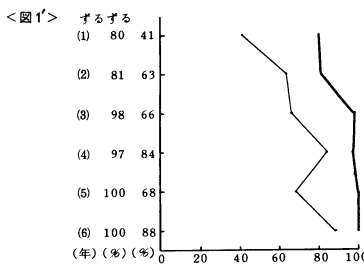
△図6Vより、テストIIに示した68語のうち、回答率が5%以上のものは、“ほかほか”(30%)“ほかほか”(18%)“すべすべ”(10%)“つやつや”(7%)“ひらひら”(5%)の5語で、全体の70

<表3> 数字は、80%に達した学年。×印は、6年生までに80%に達していないことを示す。

た	べたべた	1	ねばねば	2	
	べたべた	1		ねとねと	4
	びたびた	×		ねたねた	×
ち	ねたねた	×	ねちねち	×	
	こちこち	2	てかてか	5	
	こちこち	6	でらでら	×	
ら	ねちねち	×	しくしく	2	
	きちきち	×	しとしと	3	
	さらさら	1	しなしな	×	
な	さらさら	1	だぶだぶ	2	
	からから	4	だばだば	×	
	びらびら	4	きりきり	3	
ば	てらてら	×	きちきち	×	
	ぬらぬら	×	ぎざぎざ	1	
	わなわな	1	ぎとぎと	×	
と	しなしな	×	ぬるぬる	1	
	ねばねば	2	ぬらぬら	×	
	かばかば	4	じめじめ	1	
き	だばだば	×	じわじわ	4	
	べとべと	1	じとじと	×	
	ねとねと	4	ばきばき	×	
き	ぎとぎと	×			
	じとじと	×			
	ずきずき	3			
	ばきばき	×			

<表4>

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
A型優先	14	7	11	7	11	6
B型優先	3	5	3	7	3	0
計	17	12	14	14	14	6



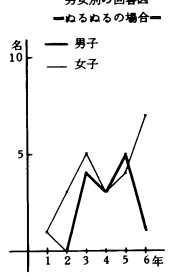
を占めている。中でも、“ほかほか”(33人に1人)、“ほかほか”(55人に1人)は頻繁に回答され、小学生に非常に好かれていることばであると言える。

① 男女差

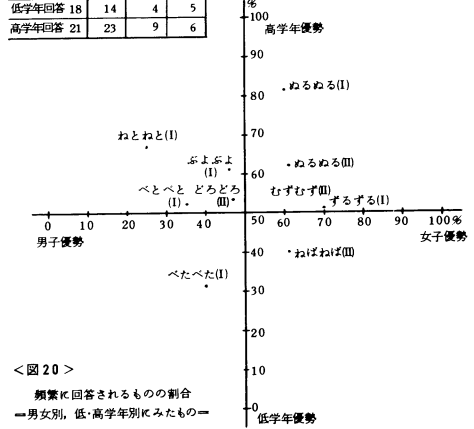
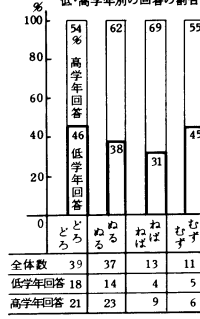
② 学年差

△図9Vより、低学年の方が高学年より、

<図18> 男女別の回答図



<図19> 低・高学年別の回答の割合



<図20> 頻繁に回答されるものの割合

→男女別、低・高学年別にみたもの

「ぼかぼか」ということばを好み、高学年の方が低学年より「すべすべ」ということばを好んでいると言える。

① 気持ちいいことばのまとめ

(△図10▽提示)

※△図10▽の見方

テストIⅡにみる回答率の高い語について、△図2▽△図5▽△図7▽△図9▽より、男女別、低学年別割合を同座標上に整理した。

△図10▽より、「はかほか」「つるつる」の2語を除いた6語が、女子優勢に入っている。さらに、高学年女子優勢に入るものが、6語のうち4語あることから、男子は、

りがなく、女子は高学年に片寄りがあるということが出来る。

② 気持ち悪いことば

テストI

(△図11▽△図12▽△図13▽△図14▽△図15▽提示)

15▽提示

△図11▽より、テストIに示した70語のうち、回答率が5%以上のものは、「べとべと」(16%)、「ねとねと」(13%)、「ぬるぬる」(12%)、「ずるずる」(8%)、「ぶよぶよ」(6%)、「べたべた」(6%)の6語で、全体の61%を占めている。

① 男女差

△図12▽△図13▽より、男子の方が女子よりも、「べとべと」ということばを嫌っ

ていることがわかる。「ねとねと」「べたべた」もこの類型である。同様に、△図12▽△図14▽より、女子の方が男子よりも「ずるずる」ということばを嫌っていることがわかる。「ぬるぬる」もこの類型である。

② 学年差

△図15▽より、高学年の方が低学年より、「ねとねと」「ぬるぬる」ということばを嫌っていることがわかる。低学年の方が高学年よりも嫌っている顕著な例はない。

テストⅡ

(△図16▽△図17▽△図18▽△図19▽提示)

△図16▽より、テストⅡに示した68語のうち、回答率が5%以上のものは、「どろどろ」(20%)、「ぬるぬる」(19%)、「ねばねば」(7%)、「むずむず」(6%)の4語で、全体の52%を占めている。中でも、「どろどろ」(5人に1人)、「ぬるぬる」(53人に1人)は頻繁に回答されており、小学生に非常に嫌われていることばであると言える。

① 男女差

△図17▽△図18▽より、女子の方が男子よりも、「ぬるぬる」ということばを嫌っていることがわかる。「むずむず」もこの類型である。同様に、△図17▽より、男子が女子よりも「ねばねば」ということばを嫌っていることがわかる。

② 学年差

△図19▽より、高学年の方が低学年より、

「ぬるぬる」ということばを嫌っていることがわかる。「ねばねば」もこの類型である。

③ 気持ち悪いことばのまとめ

(△図20▽提示)

※△図20▽の見方……△図10▽に同じ。

△図20▽より、「べたべた」「ねばねば」を除いた8語が、高学年優勢に入っている。8語について、男女4語ずつ分かれていることより、男女共、低学年では、気持ち悪いことばに片寄りがなく、高学年で片寄りができてくることを表わしている。△図10▽と△図20▽を総じて

気持ちいいと感じるものも、悪いと感じるものも、低学年においては、男女共ことばが広範囲にばらつき、特定のことばに片寄っているのはわずかである。これは、低学年においては、快・不快共にその感覚が固定化されていないとみてよいと思う。しかし、高学年になると、男女共、特定のことばに集中してくる。特に女子にその傾向が強く、気持ちいいことばも、悪いことばも共にしぼられてくるが、男子は、気持ち悪いことばに女子と同じ傾向がみられるだけで、気持ちいいことばには、低学年からの変化はみられない。よって小学生において、女子は、気持ちいい方と悪い方を同時に固定化していく傾向にあるが、男子は、気持ち悪い方がいい方より先に固定化していくという結果が得られたわけである。

(東京・第一寺島小・教諭)